

国際交流活動2021年

(国際展開担当理事) 藤山 和仁

去る2021年10月27日(水)~29日(金)に、開催された第73回日本生物工学会大会における国際交流関連行事を中心に今年度の国際交流活動について報告する。

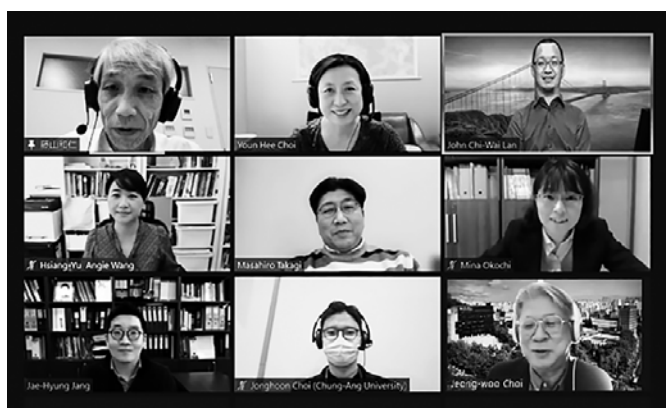
■生物学アジア若手賞 本年度は第18回目となり、フィリピンのRodney H. Perez博士(University of the Philippines – Los Baños)に授与された。受賞対象となった研究題目は、「Multiple bacteriocin production and the novel circular bacteriocin of newly isolated lactic acid bacteria」で、受賞講演は大会3日目の午前に行われた。Perez博士はフィリピンのビサヤス州立大学を卒業し、九州大学大学院に入学して2014年に博士号を取得した。イースタン・ビサヤス州立大学で講師として勤め、2016年からはフィリピン大学ロスバニョス校National Institute of Molecular Biology and Biotechnology (BIOTECH)で研究に従事している。また、2017-2019年には、九州大学でJSPS外国人特別研究員であった。同氏の今後の研究における益々のご発展と当学会との連携を期待したい。

■生物学アジア若手研究奨励賞 (DaSilva Award) 第10回目の本年度はマレーシアのHui Suan Ng博士(UCSI University)に授与された。受賞対象となった研究題目は、「An integrated approach for sustainable production of keratinase using aqueous biphasic electrophoresis」であった。Ng博士はマレーシアプトラ大学を卒業し、同大学より2014年に博士号を取得した。2016年に助教に、2018年に准教授に昇任した。現在、同大学のCentre of Excellence for Research, Value Innovations and Entrepreneurshipのセンター長を務める。台湾・元智大学などの客員研究員の経歴も有する。同氏の今後の研究における益々のご発展とJBB誌への貢献を期待したい。

■Korean Society for Biotechnology and Bioengineering (KSBB) と Biotechnology and Biochemical Engineering Society of Taiwan (BEST) との人的交流 2021年4月14日(水)~16日(金)に開催されたKSBB春季大会に、2020年度の学会賞受賞者である大政健史先生(功績賞・阪大)、清水一憲先生(照井賞・名大)が参加し、講演を行った。また、10月6日(水)~9日(土)に開催されたKSBB秋季大会では、本年度受賞者である竹山春子先生(功績賞・早稲田大)、金井宗良先生(江田賞・酒類総研)、小西正朗先生(照井賞・北見工大)が講演を行った。10月1日(金)~2日(土)に開催されたBESTの年次大会では、福崎英一郎会長と吉野知子理事が招待講演を行った。

第73回日本生物工学会大会では、2日目のKSBB-BEST-SBJ合同シンポジウムBiotechnology for SDGsでKSBBから4題、BESTから2題の招待講演が行われた。招待講演者は、Jeong-Woo Choi教授(Sogang University)、Youn Hee Choi博士(KIET)、Jae-Hyung Jang教授(Yonsei University)、Jonghoon Choi教授(Chung-Ang University)、John Chi-Wei Lan教授(Yuan Ze University, Taiwan)、Hsiang-Yu Wang教授(Tsing Hua University, Taiwan)であった。

■KSBBとBESTとの交流会議 第73回大会の2日目、10月28日(木)のシンポジウム終了直後にオンラインで、KSBBのChoul-Gyun Lee教授(会長, Inha University)、Duk Jae Oh教授(副会長/次期会長, Sejong University)とMin Kyu Oh教授(次期庶務理事, Korea University)を交えて交流会議を開いた。本会からは、福崎会長、青柳副会長、梅津(国際展開)理事と筆者が出席した。交流会議では第74回日本生物工学会100周年記念大会(2022)にKSBBより5名招待し、3学会合同シンポジウムを開催することに同意を得た。KSBBとの会議に続いてBESTの庶務理事であるJohn Chi-Wei Lan教授(Yuan Ze University)との話し合いの場が持たれた。本会からは、上記理事の他、石井(国際展開)理事が加わって意見交換が行われ、3学会合同シンポジウムの開催、来年も2名の招待講演者をそれぞれの年次大会に派遣することが決まった。



KSBBとBESTとのオンライン交流会議の様子。上段左より、筆者、Youn Hee Choi博士、John Chi-Wei Lan教授、中段左より、Hsiang-Yu Wang教授、高木昌宏先生、大河内美奈先生、下段左より、Jae-Hyung Jang教授、Jonghoon Choi教授、Jeong-Woo Choi教授